

共生

奈良県生協連

2026年7月

NO.141



第37期通常総会
奈良ロイヤルホテル



能登半島被災地支援 サロン活動（能登市）



Peace Now! 奈良2026 奈良教育大学構内

もくじ

退任のご挨拶……………	1	第1回生協・行政協議会/Peace Now!奈良2026…	7
就任のご挨拶……………	2	若者応援プロジェクト奈良/能登被災地支援サロン活動…	8
第37期通常総会……………	3・4	奈良県社会福祉協議会の役割とともにめざしたいこと…	9
会員報告……………	5・6	全国社会福祉協議会・日本生協連の皆さまが来訪 なら消費者ねっと総会記念講演……………	10

奈良県生活協同組合連合会前会長 森 宏之



今後、少子高齢化が進展し、地域ではひとり暮らしのお年寄り、ひとり親世帯、子どもの貧困化がすすみます。孤立や地域のつながりの希薄化が進行します。奈良県生協連がこれからも地域社会における弱者の守り手として、支援者たちのネットワークのささえとなることを祈念して御礼の御挨拶といたします。



生協の歴史から
戦争と平和を
学ぶ

元日本生協運営事務局
齋藤 嘉博氏

2016年10月10日（月）
東京農業大学フロンティアセンター

2023年11月7日
天川村 車谷村長を訪問

A photograph of three men in dark suits and ties standing side-by-side in front of a backdrop. The backdrop features a repeating pattern of the Tama River logo, which consists of a stylized mountain peak and the text '天川村' (Tama River Village). The man on the left is slightly taller and has a mustache. The man in the center is wearing a light-colored tie. The man on the right is wearing a dark tie. They are all looking towards the camera.

奈良県内の各市町村を訪問し、
地域の見守りや防災、福祉の向
上に向けた懇談を重ねました。



「地域福祉の推進及び地域共生社会の実現に
関する包括連携協定」締結式
2026年3月11日 奈良県庁



ならコープNPT再検討会議代表派遣者 矢崎友萌さん送り出し会
2026年3月19日 奈良女子大会議室（奈良県生協連理事会）

就任のご挨拶



奈良県生活協同組合連合会会長 福西 啓次 ひろつぐ

第37期奈良県生協連通常総会およびその後の第1回理事会において、会長に互選されました福西啓次です。繁田實造先生、逸見啓先生、瀧川潔さんと続き、そして今期をもって退任された森宏之さんから5代目会長としてその大任を受け継ぐことになります。人格も知識も能力もすべてにおいて歴代会長には到底及びませんが、精一杯努めさせていただき所存でございます。どうか温かくお見守りくださいますようお願い申し上げます。

ちんまりと5つの生協があつまり1990年に設立した奈良県生協連は、「小さいからこそできることもある」と会員相互の交流を大切にすることを基本方針に据え、奈良の地域特性にそった社会課題の解決に向けた活動を地道にこつこつ進めてこられた結果、現在は9会員生協、県下40万人組合員を擁する規模に成長してまいりました。この間、生活協同組合の領域にとどまらず、JAならけんグループや県森林組合連合会との県下の協同組合間協同が進展し、さらには奈良県をはじめ各市町村行政とも良好な関係づくりがなされ生協への期待が高まっていることを実感しています。これまでの先人のみなさまのご功績に心底から感謝申し上げるとともに、これを礎にさらなる発展にむけて尽力してまいります。

さて、国内での少子高齢化と人口減少そして過疎化の流れに歯止めがきかず、奈良県においてはさらに加速度的に進行しています。また、気候変動の影響は、自然災害の激甚化、広域化をもたらすとともに、コメ騒動を象徴に食料安全保障の揺らぎも懸念されます。

他方、国際的には、未だにウクライナ戦争やイラン戦争の収束の道筋は見えず、これらは権力によるカネや領土の争奪が主目的でそこには「人」の尊さが存在しません。また、ナフサショックは全産業に波及し、あらゆる物価の高騰につながっており、このことは私たち消費者のくらしと各会員生協の事業経営にも直結する、極めて深刻な事態であるとの認識が必要です。

一方で、こうしたグローバル・ローカルともに社会課題が山積する中で、その解決にむけて、協同組合への注目・期待が高まっています。2回目のIYCでは、今後10年毎に国際協同組合年とすることが決定されました。この地方都市奈良において、協同とたすけあいの思想をベースにした「実践」を積み重ね、社会にその大切さと価値を発信していくことが求められます。

私たち奈良県生協連は、「大学」「購買」「医療福祉」「共済」の多彩な分野で「事業」と「人」を有する生協で構成されます。それぞれが持つ資源を有機的に連携し、高齢化を健康長寿としてポジティブにとらえ、女性や学生を含めた若者がイキイキと活躍でき、こどもと地球に優しい、まさしく「共生」の名にふさわしい、誰もが安心して暮らせる未来社会を一緒につくってまいりましょう。

奈良県生協連第37期通常総会を開催しました

6月27日 奈良ロイヤルホテル



6月27日奈良県生活協同組合連合会第37期通常総会を開催しました。ダブル台風が接近し、参集での開催が心配されましたが、当日7時時点で警報が発令されなかったため、予定どおりに開催することができました。しかしながら、一部で公共交通機関の影響もあり奈良県立大学生協の代議員3名を含む6名が書面での議決となりました。

2025年度事業報告・決算関係書類、2026年度事業計画および予算案、役員選任および役員報酬に関する議案について、第1号議案から第4号議案のすべてが可決・承認されました。今期で9年間に渡りご活躍いただいた森宏之会長が退任されることになりました。

新理事として、奈良県立大学生生活協同組合理事長 岩垣真人さん、市民生活協同組合ならこプ専務理事 盛口篤さんを迎え、2026年度は新たな体制で地域共生社会づくりにむけ、2026年度事業計画に基づいて活動がスタートしました。

当日は、ご来賓15名、理事11名、監事2名、代議員27名（うち委任0名・書面議決6名）、オブザーバーと事務局を含め、総勢107名（会場101名）が出席・参加し、奈良県生協連の一年間の取り組みや、会員生協の活動報告を共有しました。

森宏之奈良県生協連会長は冒頭の挨拶で、「物価上昇、世界の紛争とエネルギー問題と経済の混乱、平和が脅かされる状態への不安、気候変動に伴う災害、高齢化と市民の活動基盤、孤立や経済・健康格差がすすむなか、たすけあいの価値を發揮し、くらしの安全の価値の下支え、地域共生社会づくりをたすけあい協同



奈良県生協連
森 宏之 会長



佐藤啓参議院議員
亀田 真伍 秘書



奈良県県民くらし課
染川 幸史 課長



奈良県農業協同組合
中央会
西川 清 専務理事



奈良県社会福祉協議会
石井 裕章 常務理事



特定非営利活動法人
なら消費者ねっと
北條 正崇 理事長



議案提案する奥西専務理事

の組織ですすめたい。県社協との包括連携を機に着実な取り組みが重要になる。この難局を乗り越えるよう力をあわせて取り組みたい。」と述べました。

また、ご来賓を代表して、佐藤啓参議院議員秘書 亀田真伍様、奈良県地域創造部県民

<承認された議案>

- 第1号議案 2025年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2026年度事業計画及び予算案決定の件
- 第3号議案 役員選任の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件

ご臨席いただいた来賓の皆様(順不同)

- ・佐藤啓参議院議員秘書 亀田 真伍様
- ・奈良県地域創造部県民くらし課課長 染川 幸史様
- ・奈良県県民くらし相談センター 副所長 伊豆蔵美栄子様
- ・奈良県農業協同組合中央会専務理事 西川 清様
- ・奈良県社会福祉協議会常務理事 石井 裕章様
- ・日本生活協同組合連合会関西地連事務局 桑島 航様
- ・近畿労働金庫 地域共生推進室室長 東中 健梧様
- ・特定非営利活動法人なら消費者ねっと理事長 北條 正崇様

寄せられた祝電・メッセージ 53件

ありがとうございました。

くらし課長 染川幸史様、奈良県農業協同組合中央会専務理事 西川清様、奈良県社会福祉協議会常務理事 石井裕章様、特定非営利活動法人なら消費者ねっと理事長 北條正崇様から、それぞれお祝いの言葉をいただきました。

全国からは当日2件の祝電を含む53件の祝電・メッセージをいただきました。



司会 岡田 昭典氏



議長 小山 幸恵氏

2026年度 役員体制

会 長 (代表理事)	福西 啓次	員外
副会長	末吉 英男	奈良県労働者共済生活協同組合
専務理事 (代表理事)	奥西 武史	員外
理 事	岡田 昭典	生活協同組合コープ自然派奈良
理 事	城本 壘	生活クラブ生活協同組合
理 事	谷垣 晴香	奈良教育大学生生活協同組合
理 事	岩垣 真人	奈良県立大学生生活協同組合
理 事	姫野 恭博	奈良女子大学生生活協同組合 奈良教育大学生生活協同組合
理 事	廣 和樹	奈良工業高等専門学校生活協同組合
理 事	福山 明浩	奈良県医療福祉生活協同組合
理 事	吉田 由香	市民生活協同組合ならコープ
理 事	盛口 篤	市民生活協同組合ならコープ
監 事	中西 京美	市民生活協同組合ならコープ
監 事	平本 義陽	奈良県労働者共済生活協同組合



末吉副会長

総会は、岡田昭典理事の司会進行のもと、ならコープ代議員の小山幸恵さんが議長に選出され、議事に入りました。議案の提案とともに、各会員生協から活動報告が行われ、代議員27名中、実出席21名（委任・書面議決ともに6名）のもと審議・採決が行われ、すべての議案が賛成多数で可決・承認されました。最後に、末吉英男副会長が閉会の挨拶に立ち、新任理事と監事の紹介のあと「2025年国際協同組合年を振り返り、SDGsの達成と生協事業の発展に向けた取り組みを、今後も推進していきたい。」と述べました。

ようしくお願ひします。
新任理事

理事 岩垣 真人氏
奈良県立大生協理事 盛口 篤氏
ならコープ

お疲れさまでした。



森 宏之会長

～懇親会では活動紹介や情報交換で参加者が交流しました～

日本生協連関西地連
桑島 航氏近畿労働金庫
東中 健梧氏

総会後の懇親会では、ご来賓から高校生・大学生協の学生委員も含めて多数参加され、年代を越えた活発な交流の場となりました。日本生協連関西地連 桑島航氏、近畿労働金庫 東中健梧氏それぞれの活動の紹介と奈良県生協連への期待の言葉をいただきました。高校生・大学生は名刺を受け取ると、「社会人の仲間入りをしたようでとても嬉しい、いい経験になりました。」と笑顔で元気な交流がなされました。

また、会員9生協による活動報告では、それぞれの取り組みを知ることができ、お互いの活動への理解を深める良い機会となるとともに、恒例となっている労済生協によるクイズなど工夫を凝らした企画に笑顔があふれ、終始和やかな雰囲気の中で楽しく活発な情報交流を進めることができました。

会場の様子



会員生協からの報告

奈良県労働者共済生活協同組合

辻本 和也さん

奈良県では1961年に労働組合を中心に結成された当生協は、40年前から職場だけでなく地域へも「助け合い」の輪を広げ、社会課題の解決に取り組んでいます。

社会課題解決の取り組み活動として、「みんなの被災地応援プロジェクト」を展開しています。火災共済の見積もり1件につき100円を被災地のボランティア団体へ寄付する取り組みで、1年9ヶ月で約2.8万件の見積もりをいただき、総額2,810万円超を能登半島などの復興支援に役立てています。また、防災・減災活動の一環として、地震や風水害、火災を疑似体験できる「VRゴーグル」を用いた出展を各地域のイベントで実施しています。

さらに、人口減少が進む奈良県の未来の担い手を守るため、「7歳の交通安全プロジェクト」を推進。他学年に比べ事故率が5倍跳ね上がる小学1年生の安全のため、マイカー共済の見積もりを1件につき1本の横断旗を寄贈し全国で累計194万本贈呈してきました。今後も協同組合の皆様と連携し、地域社会に貢献してまいります。



生活クラブ生活協同組合

田中 正美さん 土田 敦子さん

持続可能な社会を目指しながら「ローカルSDGs」の取り組みを進めています。食の分野では、厳しい酪農現場を支えるための牛乳利用促進や生産者交流会を行い、利用率の目標を達成しました。また、気候変動や担い手不足に直面する野菜生産者を応援する「野菜セット」の普及にも努めました。

環境では、石鹸の利用普及に力を入れました。赤ちゃんの誕生祝いに石鹸と絵本を贈る企画には20名の申し込みがあったほか、7月の「シャボン玉月間」には奈良県内の4自治体の首長から環境への取り組みに関するメッセージをいただきました。さらに10月には、10組の親子が参加した「シャボン玉飛ばそう企画」を催し、実演を交えながら家庭での石鹸利用を呼びかけました。

福祉・地域貢献としては、奈良県生協連主催の若者応援プロジェクトに参画し、奈良教育大学や奈良女子大学でのフードパントリー活動へお米やノンカップ麺を届けました。また、センター内のフリースペースを活用し、カブトムシ育成や味噌作り等の企画を開催。地域の方々の「居場所作り」を進めました。

設立20周年を迎える2026年度も、組合員の皆様とともに、地域に根ざした活動をさらに一歩進めてまいります。



奈良女子大学生生活協同組合

水谷 佳那さん

奈良女子大学の生協学生委員会（通称：WINDY）は、新入生が入って現在75名で活動しています。2025年度は既存の企画にとらわれず「組合員のニーズに対応した企画作り」を目標に掲げ、年間を通じた「通常局」と、半年間活動する「新歓局」に分かれて11の企画を展開しました。通常局では、新入生がWINDY以外ともつながりを作るため「サークル紹介動画」を作成しました。生協への理解を深めるお茶会や、オープンキャンパス、大人気の夏祭り企画では、星の形をした「願い事カード」に思いを書いて生協に届ける場を提供しました。年2回の「自転車点検会」では、業者と学生が温かく交流しながら通学安全をサポートし、共済加入の推進にも繋げています。新歓局では、手作りの「履修冊子・奈良マップ」の郵送や、丁寧な対面・オンライン説明会、楽しみながら学べる新企画「共済すごろく」を用いた新入生交流会、さらに女子大ならではの身だしなみや防犯を学ぶ「#better myself」を企画しました。他大学（奈良教育大・奈良県立大）と連携した平和学習や、奈良県生協連さんとのコラボも進めています。新しい活動目標を取り入れつつ、私たちの思いの根幹にある部分というものを大事にして取り組んでいきたいと考えています。



市民生活協同組合ならコープ

山田 育子さん

ならコープは2025年度、創立50周年プラスワンの節目として、商品開発や記念イベント、記念誌発行等を通じて歴史を学び、価値観を共有しました。

平和の取り組みでは、昨年は被爆80年の節目の年でした。原爆被爆者相談員の会へ原爆被害者救援募金の贈呈を行ったほか、広島の旅や平和のつどいを実施しました。また、NPT再検討会議への代表派遣に伴う募金活動にも取り組み、「誰一人取り残さない社会」を目指して活動を継続しています。

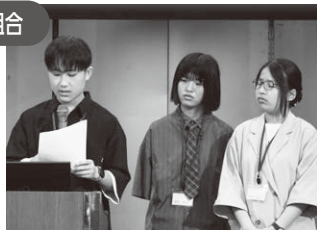
「組合員のつどい」では産直や地産地消をテーマに産地と食卓のつながりを学びました。また、組合員のくらしが厳しい経済状況下において「くらし応援キャンペーン」などに取り組みしました。総供給高は予算・前年比ともに達成することができました。

2026年度も引き続き「商品・人・地域」づくりに取り組みます。3月には奈良県社会福祉協議会、奈良県生協連との3者で包括連携協定を締結し、地域共生社会の実現に向けたくらしの基盤作りを本格化させます。「地域まるごと、人生まるごとコープ」を掲げ、全世代から最も頼りにされる存在を目指して事業と活動をすすめてまいります。



奈良工業高等専門学校生活協同組合

丹生 妃音さん
奥村 侑以さん
小西 伸吾さん



5年制の高等専門学校である奈良高専で

は、ほぼ全学生が組合員であり、生協学生同好会には約30名が所属し毎週火曜日と木曜日の放課後に活動しています。

2025年度は奈良高専生協の「30周年」を記念し、年間を通じて様々な還元・記念企画の運営に全力を注ぎました。7月にはアンケートで選ばれた上位3つのアイスを100円引きで販売。8月にはトッピングを選べるかき氷を1杯50円から提供し、100杯以上を売り上げました。10・11月には大山乳業の魅力を伝えるため、市販品との牛乳飲み比べ企画や割引キャンペーン、オリジナルPOPを掲載して実施。12月1月には生協利用レシートでの抽選会を行い、約600の応募を集めました。奈良高専生協の電子マネー「narakoポイント付与率6倍企画」を実施、さらに2月には「タヌロー喫茶」を開催し、放課後の1時間半で120名以上にケーキやドリンクを提供。この売上・募金合計12,820円は、「たすけあい奨学制度」へ寄付しました。

他にも恒例の自転車点検や新入生歓迎会などを実施しました。今年度はこれらの経験を活かし、さらなる活動の発展をめざします。

奈良教育大学生協同組合

黒瀬 智広さん



学生委員会は、新入生が約80名加入し、現在は合計130名以上の規模で活発に活動しています。昨年度は「地域の方に生協を知ってもらおうこと」「新入生の不安解消」「生協商品の販売促進」を目標に掲げ、年間を通じて多彩な企画を展開しました。日常活動では、年2回の自転車点検会をはじめ、公式Instagramでの情報発信、組合員証の投票システムを用いた商品の割引企画、夏のかき氷販売などを実施。地域の小学生を招いた夏祭りでは講堂全体を使った歓迎劇を披露し、クリスマスには限定フードの販売と共に共済のPRを行いました。新入生応援では、受験当日の校門前応援にメッセージやキットカットを配ったりしました。さらに専攻別の交流企画や履修相談を行い、新生活への不安を解消しました。また、他専修交流会も開催しました。個別相談会やパソコンの初期設定サポートなど、今年度も多くの組合員に生協や共済の魅力を伝える機会を創出し、商品の利用拡大と新入生企画を通じた共済加入率の向上を目指して活動を推進していきます。

コープ自然派奈良

西村 いずみさん



2025年度は第7次中期計画の2年目として、商品の利用拡大、学びや交流を深め、やりがいのある組織運営をすすめました。新設した「運営委員」や各地区クラブ、10のチームが障害のある方との料理講習会・有害化学物質・経済政策の知識を深めるなどの学習会を開催しました。また、生産者を招いた商品学習会などを開催し、商品のファンを広げました。地域連携では、17年目を迎えたひみこ米の生産者と田植え等で交流。学校給食を考える活動も県内へ広がっています。「かしはらオーガニック」では、10年後のこども園への有機米100%納入に向け、有機米づくり学校を開校しました。また、環境保全のため下北山村の林業現場を訪ねるツアーの実施や、「子ども笑顔基金」に集まった約20万円分のポイントを自然派商品に換えてNPO法人おてらおやつクラブを通じてひとり親家庭へ寄付する活動も行いました。「福祉ビジョン」に基づくサ高住（サービス付き高齢者向け住宅）設立計画では、組合員アンケートで9割以上の賛同を得ています。

今後も一人ひとりの尊厳を大切に、命・自然・くらしを守る未来への橋渡しとなる生協を目指します。このビジョンを土台に、誰もが笑顔いっぱい安心して暮らせる社会の実現へ向け、さらに実りある活動を進めていきます。

奈良県医療福祉生活協同組合

中川 博子さん



奈良県医療福祉生協は2025年度、「健康・つながり・居場所・学び」を軸に地域住民と活動しました。4月の健康マルシェ（183人参加）や定期開催のすこやかカフェをならコープふれあいセンター六条と医療生協の生協ホールで毎月1回開催しました。秋の生協月間では97組471人が「おしゃべりタイム」に参加しました。専門家を講師に「すこやか塾」を開催し、くらしの懇談会や診療所懇談会を通じた学びの場づくり、機関紙やSNSでの情報発信、各地域委員会による独自の健康講座やイベントも活発に行われました。

一方で、現在国会で成立した健康保険法改正案に強い危機感を持っています。これは医師から処方される身近なOTC類似薬（湿布、ロキソニン、アレグラ等）に対し、25%を特別徴収する制度です。薬代の負担増は受診控えや服用中止を招き、人々の命と健康を脅かします。さらに今後の対象拡大も懸念されるため、私たちは反対の声を上げています。現在978筆集まっている署名へのさらなるご協力と、この事実を周囲へ広げる取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。みんなの力で健康と暮らしを守りましょう。

【奈良県立大学生協の報告について】

総会当日は台風とともなう交通機関の運休により、奈良県立大学生協の代議員は欠席となり会場発表はやむを得ずなくなりました。なお、議案審議につきましては事前に「書面議決」にて参加いただき、すべての議案が滞りなく可決・成立しております。

第1回 生協・行政協議会



多言語防災ポケットガイド


 どんわ や まどぐち(たいめん) で
 そうだん できます
 Help is available by phone or in-person,
 可受電話或面談可
 Có thể tư vấn qua điện thoại hoặc tại quầy (gặp trực tiếp)
 かようびーとようび 9:00~16:30
 にちようび げんようしゅ 12/29-1/3 は やすみ
 Service hours: 9:00 ~ 16:30 Tuesday-Saturday
 (Closed: Sunday, holidays, national holidays) (休 日、祝日、国定祭日を除く)
 毎週一 9:00 ~ 16:30 (日、祝日、国定祭日を除く) 12/29-1/3(不開)
 This grant term use: Từ thứ ba thứ bảy, 09:00-16:30 (không tính ngày lễ tết)

外国人のためのポケットガイド

“Peace Now! 奈良 2026”が開催されました

■ キャンパスに眠る歴史を歩く「フィールドワーク」

■ 未来へつなげる「アウトプット」

■ 吉川好胤先生からのメッセージ

A large group of approximately 50 people, including students and staff, are posed for a group photo on a paved area. They are arranged in several rows, with some individuals kneeling or sitting in the front and others standing behind. The group is diverse in age and appearance. In the background, there are lush green trees and a building with a sign that reads "JLIL". A tall, thin monument or sculpture is visible behind the group. The overall atmosphere is formal yet friendly.

若者応援プロジェクト奈良2026

奈良教育大学フードパントリー

5月1日奈良教育大学の学生会館山田ホールで、奈良県生協連の若者応援プロジェクト奈良2026の1回目のフードパントリーを実施しました。整理券を配布し、予告時刻12時30分少し前の27分から開始しました。白米5kg 20袋は下宿生や寮生優先とし、食材の詰め合わせ（レトルトカレー2パック、袋めん2袋）を150名分用意して、学生さんに配布。開始から7分ほどで終了してしまいました。今回の白米も、生活クラブ生協の組合員さんによる「おふくわけ活動」として困っている学生さんのためにと寄付して下さった白米5kg入り20袋です。もったいないNARAからは雑貨品、ならコープからもフライパンやキッチンペーパーなどの寄付をいただきました。アンケートから物価高騰で学生さんたちが困っている実態が分かりました。



アンケート結果

「苦しくなった」「どちらかといえば苦しくなった」を入れると80%が苦しくなったと回答。苦しくなった理由：「生活費が上がった」60%・「アルバイト収入が減った」26.7%・「通信費が増えた」3.3%

学生アンケートより

レトルトカレーやインスタントラーメンのような、簡単に作れてすぐに食べられるものをいだけたのが、すごく有難いです。また、お米など高価になっているものも無償でいただける機会があると知り、運よく受け取れたらと思ったので、今回は逃してしまいましたが、これからまた機会があれば嬉しいと思います。

生活が苦しいという学生が8割にもなります。留学生も2名参加されました。食品無料配布は助かるという学生が多いことは予想通りですが、支援する側の資金面の限界があり、より多くの困っている学生にどのようにお渡しできるのが今後の課題です。

【被災地支援報告】

能登被災地支援サロン活動

輪島市大沢町で「たこ焼き交流会」を開催、継続したつながりへ

5月30日・31日の2日間、ならコープや奈良県生活協同組合連合会の職員、奈良教育大学生協を通じた学生ら計7名が、「能登被災地支援サロン活動」を実施しました。この活動は、2024年の能登半島地震および豪雨被害を受けた被災地とつながりつづけることを目的として、石川県輪島市大沢町にてNPO法人「SEEDS OF HOPE（シーズ・オブ・ホープ）」の協力のもとで行われたものです。

初日は、翌日の会場となる消防団倉庫の設営や、全戸訪問によるチラシ配りを行い、二重の災害に見舞われた大沢町の深刻な現状を肌で感じました。2日目は「たこ焼き交流会」を開催。地元住民の方から差し入れられた、当日獲れたばかりの新鮮なタコや、アレンジ食材を具材に、合計150食のたこ焼きを調理しました。会場には常時15名ほどの住民が集まり、あちこちで笑顔と談笑の輪が広がりました。また、会場へ来られない近隣の仮設住宅の方や、田植え作業中の方々へも出来たてのたこ焼きを届け、地域全体へ元気を届けました。

現在、大沢町に常時居住しているのは10世帯ほどで、週末だけ戻られる方も多いの現状です。住民の方からは「こうして皆で集まる機会を作ってもらい、本当にありがたい」と、孤立防止につながる活動への感謝の言葉をいただきました。

自力で自宅を修復し、「この地に住み続けたい」と前を向く住民の皆様の力強さに触れ、私たちは継続的な支援の重要性を強く実感しました。次回は8月と11月に現地での活動を予定しています（現地を支援されている災害NGO結さんのコーディネートで開催場所が決まります）。



奈良県社会福祉協議会の役割と ともにめざしたいこと

—地域共生に向け、奈良県社協×奈良県生協連×ならコープ—

6月24日ならコープ組合員理事研修がならコープ本部会議室で開催されました。3月11日に奈良県社会福祉協議会、奈良県生協連、ならコープの三者による包括連携協定が締結されたことを受け、まずは奈良県社会福祉協議会（以下、県社協）の活動を知り、理解を深めることを目的として開催されたものです。

研修では、「奈良県社会福祉協議会の役割とともにめざしたいこと」について、県社協の岡本晴子課長よりお話があり、奈良県生協連も傍聴させていただきました。



生活協同組合（生協）と社会福祉協議会（社協）は、「誰もが安心してくらす地域づくり」をめざして活動しており、その理念や役割には多くの共通点があります。これまでも、生協と県社協とは、たすけあい活動、防災支援活動、介護保険制度改定に伴うあたらしい地域支援事業、生活困窮者支援など、様々な課題で協議・交流を重ねてきました。近年では、「地域共生ラウンドテーブルミーティング」の開催をはじめ、「奈良こども食堂ネットワーク」共同事務局、「奈良防災プラットフォーム連絡会」の参画団体として連携するなど、協働の取り組みをさらに発展させています。

「地域福祉」とは、社会のしくみを、住民発でくらしやすく変えていく実践です。社協は、こういった実践を住民主体の組織として話し合い、取り組んでいく組織です。

社協には、「話し合う協議体（協働を基盤）」、「働きかける運動体（解決力）」、「実行する事業体（開発・実施）」の3つの性格があります。さらに、県社協は「一人ひとりが大切にされ、ともに支え合うまちづくり」を使命（ミッション）として掲げ、3ヵ年実行計画「県社協活動推進計画（アクションプラン）」に基づき活動を推進しています。少子高齢化・就労・家族のケアなど暮らしが大きく変化し、不安定な社会情勢や孤独・孤立の問題が深刻化するなか、「つながり、ささえあう」ことや、「多様性を認め合い、一人ひとりが大切にされる」社会の実現が求められています。

最後に、生協と社協とは共通項の多いパートナーであり、組合員や地域住民の声を起点に、新たな取り組みを創出する姿勢を大切にしたいとお話がありました。また、変化し続ける地域の声に向き合う「公益性の高い民間団体」として協働をすすめること、「ゆるやかなつながり」を育むこと、楽しさを入り口とした「いつのまにか福祉活動」、そして多様な団体が連携してチャレンジすることの重要性について、力強くお話してくださいました。

『生協の21世紀理念』（1997年日本生協連通常総会で採択）は、「自立した市民の共同の力で人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」と掲げています。この理念は社協の使命とも深く通じるものがあります。近年は、地域で強いコミットメントを伴う関わりが難しくなりつつあり、ゆるやかにつながる「気かけあう」関係性が形成される場を生み出し育てることが大切になってきています。「ちょっと素通りできない」「ほっとけない」の思いとまなざし、関係性の積み重ねが「つながる（気かけあう）」であり、連帯経済の土台づくりにつながると、今年の奈良県生協大会において、長野県高齢者生協副理事長 田中夏子さんから学びました。

住民・組合員の声の本質を丁寧に受け止めながら、今日的な生活課題への挑戦が始まっています。社協と生協がそれぞれの強み資源を持ち寄り、お互いの活動をいかし合いながら、地域住民（組合員）や地域団体も巻き込みながら、地域全体でささえあう仕組みを築くプラットフォームを形成することで、新たな地域福祉事業や地域づくりの実践につなげていければと考えます。

全国社会福祉協議会・日本生協連の皆さまが来訪

～ならコープ・かわかみらいふ・協同福祉会の取り組みを視察～



4月17日～18日、全国社会福祉協議会の村木厚子会長、日本生協連の新井ちとせ会長、多村孝子常務執行役員が、ならコープ、(一社)かわかみらいふ及び社会福祉法人協同福祉会(あすなら苑)を視察されました。今回の視察は、2024年8月に新井会長(当時副会長)と二村専務理事(当時常務理事)が、ならコープ平和ライブラリー、下市ステーション、協同福祉会を訪問されたことがきっかけとなりました。その後、新井会長と村木会長との懇談のなかで、ならコープの川上村での取り組みが紹介され、「ぜひ現地を見てみたい」との声から実現したものです。

当日は、ならコープと協同福祉会が進める地域づくりや福祉事業、生協活動についてご案内し、地域住民のくらしを支えるさまざまな実践をご紹介します。視察後には、次のような感想をいただきました。

■村木厚子会長(全国社会福祉協議会)

ならコープは組織全体で取り組まれていることがよく分かりました。これからはみんなで協力しなければ何もできない時代だと改めて感じました。社会福祉協議会にとっても非常に参考になりました。

■新井ちとせ会長(日本生協連)

少子高齢化や人口減少が進むなか、誰からも頼りにされる生協をどうつくっていくのか、地域のみなさんとどう関わっていくのかが非常に重要だと思います。こうした取り組みを全国のみなさんと共感し、共有できる場をつくっていききたいと思います。

■多村孝子常務執行役員(日本生協連)

一人ひとりの困りごとに寄り添う姿勢が貫かれていると感じました。事業運営が厳しい状況であっても真摯に向き合い、「何ができるか」を探し続け、実践されているところが素晴らしいと思います。

今回の視察を通じて、ならコープと協同福祉会の実践へ理解を深めるとともに、生協と福祉が連携による地域づくりの重要性を共有する機会となりました。



そのクリック大丈夫？

—スマホにひそむだましの仕組み—



6月13日、奈良弁護士会館でなら消費者ねっと総会記念講演会が開催され、53人が参加しました。講師に一般社団法人ダークパターン対策協会代表理事の小川晋平氏を迎え「そのクリック大丈夫？—スマホにひそむだましの仕組み—」をテーマにご講演いただきました。

講演要旨：スマホにひそむだましの仕組み

ネット通販などの普及に伴い、利用者が気づかぬうちに不利な契約へ誘導される「ダークパターン」と呼ばれるウェブデザインが社会問題となっています。国内の被害額は年間十兆円を超えるとの推計もあり、「今だけ」「残りわずか」と焦らせたり、解約を難しくしたりする手口が特徴です。最近では、SNSの偽広告から若者の個人情報抜き取り、犯罪組織に悪用される事例も起きています。スマートフォン操作中は直感的な「素早い思考」になりやすいため、こうした罠に気づきにくくなります。契約前には一度立ち止まり、本当に必要な時間を置いて考える「熟考する思考」への切り替えが大切です。現在、ダークパターン対策協会では、誠実なサイトを審査・認証する「NDD認定制度」を創設し、大手企業にも導入が広がっています。また、子ども向け啓発動画の制作や学校での特別授業など、未然防止の取り組みもすすめられています。同協会ホームページには不審なサイトを通報できる「ダークパターン・ホットライン」も設置されており、寄せられた情報は行政への情報提供などに活用されています。不審なサイトを見かけたら通報し、地域全体で被害を防ぎましょう。

身近なインターネット利用の裏には、消費者を誘導する仕組みが潜んでいます。一人ひとりが情報を見極め、冷静に判断することの大切さを改めて考える機会となりました。



県連日誌

4月

- 2日(木) 憲法学習会実行委員会
- 4日(土) 奈良県のヒバクシャの
声手記集編集委員会
- 8日(水) ピースアクションをすすめ
る会
- 9日(木) 大阪府生協連・被災地支援
事務局会議
- 12日(日) Peace Now! 奈良の学習会
- 13日(月) 県社協・ならコープ・県連
三者協議
- 14日(火) 奈良県協同組合連絡協議会
事務局会議
- 17日(金)～18日(土)
日本生協連 新井ちとせ会
長・多村孝子常務執行役員、
全社協村木厚子会長来訪
- 22日(水) 奈良県水道事業等審議会
- 23日(木) なら消費者ねっと理事会
- 26日(日) 奈良県医療福祉生協・健康
マルシェ
- 27日(月) 吉野共生プロジェクト推進
委員会
- 28日(火) 関西消費者団体連絡懇談
会・関電説明会
- 29日(水) きょうされん支部総会・記
念講演会
- 30日(木) 奈良子ども食堂ネットワーク
第19回世話役団体会議

5月

- 1日(金) 総会公示、若者応援・奈
良教育大学フードパント
リー
- 7日(木) 2025年度期末監事監査
- 8日(金) 関西消費者団体連絡懇談
会・大阪ガス料金値上げ説
明会、県社協・ならコープ・
県連三者協議会
- 13日(水) ピースアクションをすすめ
る会
- 14日(木) 奈良高専生協通常総会、
奈良教育大学生協通常総
代会
- 15日(金) 奈良労済生協選挙管理委員
会、なら消費者ねっと理事会
- 21日(木) 第1回生協行政協議会、第7
回理事会
- 22日(金) 奈良女子大学生協通常総代
会
- 25日(月) R8なら建築物安全協議会
総会、吉野共生プロジェ
クト推進委員会
- 26日(火) 奈良県立大学生協通常総会
- 28日(木) DWAT学習会
- 29日(金) 地域における社会参加検討
会視察
- 30日(土)～31日(日)
能登半島被災地支援活動

6月

- 2日(火) 能登被災地支援会議
- 5日(金) 関西消費者団体連絡懇談会
- 8日(月) 生活クラブ生協総代会、県
社協・ならコープ・県連三
者協議会
- 13日(土) なら消費者ねっと通常総
会・記念講演会
- 16日(火) ならコープ通常総代会
- 19日(金) 日本生協連第76回通常総
会、創立75周年記念式典
- 20日(土) コープ自然派奈良通常総代
会、奈良県医療福祉生協通
常総代会
- 21日(日) Peace Now! 奈良2026
- 25日(木) DWAT学習会、なら消費
者ねっと理事会
- 26日(金) 共同募金会評議員会
- 27日(土) 奈良県生協連第37期通常総
会・懇親会、第1回理事会



編集後記

瀧川潔さん遺稿集がなんとか完成でき
た。あらためて「平和」、「安心・安全」、「組
合員の声」、「人と人のつながり」の大切さ、
「事業と活動の連携」の重要性、そして先
人が築き上げてこられた生協への信頼につ
いて考え、学び直した。

(武)

「ダークパターン」、初めて知りました。
対策の一つに「購入は一晚寝てから決める」
とありましたが、朝起きたら忘れていそ
うです。

(和)

昨夏に奈良にきた孫たちが近くの水路で
すくってきた「ミナミヌマエビ」を飼って
いる。冬を越し、今、稚エビが続々と産ま
れている。じっと目を凝らす。小さな命に
癒される。(順)

51歳で始めたバドミントン。部活で活躍
する中学生の息子にいつか勝利するため、
夜な夜な自主練を続けています！

(幸)

今年の夏も猛暑になりそうです。毎年、
夏になると思い出すのが、檀原のおふさ観
音の「風鈴まつり」。今年こそ夏風に揺れ
る風鈴の音に耳を傾けながら、涼を感じて
みたいな！

(佳)